



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



プロフェッショナル X

VOL.267

もくじ

P1名監督 倉本 昌康さんP2杜氏 家 修さんP3鬼師 谷池 明さんP4シューフィッター瀬尾 誠さんP5報道カメラマン神子素 孝輝さん
P6偉人 田中 辰蔵さんP7子育てポケットP8淡路文化会館・淡路県民局・淡路島くにうみ協会からのお知らせP9.10淡路の文化活動・イベント情報



野球少年の指導育成に携わって55年

何事も気持ちの持ち方次第



村上頌樹投手（阪神）や村西良太投手（オリックス）を指導

名監督 倉本 昌康 さん



“スゴイ人”に会うために訪れたのは淡路市佐野新島にある「佐野運動公園」。中学生たちと元気な挨拶を交わしながら屋内練習場に入っていくと、「淡路ボーイズ・アイランドホークス」監督の倉本昌康さんが笑顔で迎えてくれました。倉本さんは野球少年たちの指導育成に携わって実に55年、80才になった今も監督としてチームを率えています。

故星野仙一さんも在籍していた明治大学野球部で活躍した後に故郷の淡路へ戻り、26才で少年野球チーム「洲本クラブ」を結成。30年間に渡ってチームの監督を務め、さらには兵庫県少年野球連盟、全日本少年野球連盟の役員も歴任されています。

5年前に現在率いるアイランドホークスを立ち上げ、軟式から硬式にボールが替わる高校入学後も野球を続けたい、もっと上を目指したいという中学生のために指導を続ける倉本さん。「村上頌樹投手（阪神タイガース）や村西良太投手（オリックスバファローズ）も、このチームの卒業生」とプロ野球選手になった教え子の思い出を話す様子から、これからも淡路島の野球に打ち込む少年たちを応援し続け、次世代のヒーローを発掘、育成したいという情熱が伝わってきました。

いつまでも衰えない若さと情熱の心の支えとなっているのが、明治大学野球部時代の恩師で名監督の島岡吉郎氏がよく口にした「何事も気持ちの持ち方次第」という言葉とのこと。「80才になっても、理想を高く持ち、気持ちは青年です。これは今後もずっと変わらない。」と話す倉本さんは、いつまでも元気で向上心を持ち続けることの大切さを教えてくれる“スゴイ人”でした。

（応援隊：岡 まさよ、竹代 結、文化会館 新福 功）

世界最大規模のワインコンテスト「SAKE部門」で最優秀賞



米の甘味が引き立ちマスクメロンの様な香りであまみと酸味が調和する逸品に仕上げました。



都美人 太陽



信条は「土地の食べ物を引き立てる酒を造る」



「都美人 太陽」を誕生させた能登杜氏

杜氏 家修さん



お酒好きの人ならずとも、ぜひ飲んでみたいお酒が淡路島に誕生したのをご存じですか？南あわじ市にある都美人酒造の純米吟醸「太陽」は世界的な品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)」の「SAKE部門」で最も優れた銘柄に贈られる「吟醸純米トロフィー」賞に輝き、さらに7月には、SAKE部門の最優秀賞「チャンピオン・サケ」に選ばれ、エントリーした1504銘柄の頂点に立ちました。

「太陽」を誕生させた石川県の能登杜氏、家修さん(69)のことを都美人酒造の社長、久田 浩嗣さんに聞きました。久田さんが「おやっさん」と呼ぶ家さんは30歳から酒造りの道に入り、いくつかの酒蔵で杜氏を務めた後、縁あって昨年10月から都美人の杜氏に。「土地の食べ物を引き立てる酒を造る」を信条に、「太陽」の仕込みを行なった。「酒造りは生き物が相手、何があろうと帰れない。」と今年の元旦に能登を襲った地震の際も家族の無事を確かめた後は、もろみの温度管理などに努めながら、早朝から酒造りに没頭、米の甘味が引き立ちマスクメロンの様な香りであまみと酸味が調和する逸品に仕上げました。

現在は能登に帰られています、今年も10月には仕込みに来られる予定です。「初めての土地、蔵で、水も違うのになあ。」と久田さんも「おやっさん」のすごさを絶賛。「太陽」は限定品のため今年の方はもう品切れですが、来年の初しぼりが今から待ちどおしいですね。(応援隊:濱田 泰美)

おやっさんはすごい！



久田 浩嗣社長

【都美人酒造】

南あわじ市榎列西川247

TEL 0799-42-0360

FAX 0799-42-4899



「太陽」は限定品につき今年の方は完売いたしました。

谷池特殊鬼瓦工業所



二尺二寸の鬼瓦



迫力ある鬼瓦を伝統の技でつくり出す職人

鬼師 谷池 明さん



鬼瓦 修復中



谷池 一也さん

【谷池特殊鬼瓦工業所】

南あわじ市津井1024-10 電話 0799-38-0768

津井の鬼師、谷池特殊鬼瓦工業所の谷池明さんにお話を伺いました。民家の瓦を作っていた明さんのお父さんが50代で創設しました。その当時20代だった明さんはお父さんと独学で鬼瓦の制作を始めたそうです。子どもの頃から美術が好きだった明さんは古い建物の瓦や復元された瓦、美術書のデッサンを見たりして悩みながら夢中で瓦作りの研究をしたそうです。仕事を終えてお風呂に入っている時にアイデアが浮かぶと直ぐお風呂から上がり、作業場に戻る事もしばしばあったそうです。

改修工事や新築のお寺の鬼瓦、各種宗教寺院の屋根飾り、屋根の最上部に置かれている「露盤」と呼ばれる大きな瓦、その他施主さんの希望する形(七福神、牛や馬等の家畜や動物)の瓦等、多様多彩な瓦の注文を聞き、その注文毎にデザインを決めて制作に取り組んでいます。遠くは東京から山陽、瀬戸内、九州地方まで注文があるそうです。コロナ禍以降、資材や燃料の価格が高騰し、今は大変な時期ですが、娘婿の一也さんと一緒に瓦作りに励んでいます。一也さんは大阪出身で娘さんとは専門学校で知り合ったそうです。結婚を機に瓦の世界に入った一也さん。今では立派な鬼師さんです。一也さんの実家近くの寺院の大屋根に一也さんの鬼瓦が掲げられた時は、一也さんの親戚一同がとても喜んでくれたそうです。

(応援隊：坂本 厚子、村上 紀代美、川原 雅代)

現在活躍中の
鬼師は約10名





子育て中のお母さんに靴選びのアドバイスをしています。



瀬尾さんに合わせてもらった
ファーストシューズは子どもの足にピッタリ



靴の悩みを解消してくれるプロフェッショナル
シューフィッター 瀬尾 誠 さん



インソール合わせてもらったら
足痛いのなくなったわ~



せっかくお気に入りの靴を買ったのに、靴ずれや歩きづらさなどで履かなくなってしまった…なんて経験はありませんか？自分の足にフィットした靴を選びたい！そんな願いを叶えてくれるのがシューフィッターです。衣食住を豊かにし、健康と幸せな生活を送るためにも靴選びは重要です。

洲本市本町にある瀬尾商店の三代目店主である瀬尾誠さん(48歳)は、足に関する基礎知識やフィッティング技術を習得し、2000年に資格を取得。現在では一般の方をはじめ、運動選手や介護施設入所者の靴やインソール(靴の下敷き)をオーダーメイドしています。また、子育て中のお母さんたちを対象に、靴選びの大切さなどをテーマとした講演会にも出向いています。瀬尾さんのお話は説得力とおもしろさで定評があり、中でも歩き始めの子どもが履くファーストシューズ選びの話題は好評です。子どもは勿論、大人でも足は常に変化しているようで、履きなれた靴でも定期的に点検するのが理想とのこと。足にフィットした靴を履くことにより、足の病気(外反母趾など)防止や歩行方法の改善、また運動能力アップなどにつながるようです。

瀬尾さんは、計測用具で足底の形や足の各部位の形状などを測定しながらフィッティングした靴選びを提案してくれます。近年は健康志向によるウォーキング人口が増加し、様々な足の障害への対応から、足に合った靴を選ぶことへの感心も高まっています。靴の悩みを解消してくれるプロフェッショナル(シューフィッター)瀬尾さんは、島の貴重な存在です。

(応援隊:瀬戸 由美子)



足長器で足の長さを測る



足にあったシューズ履いて
タイムあがったで!



足型をとって特徴を調べる



【瀬尾商店】

洲本市本町5丁目2-9
営業時間 8:00~19:00
定休日:日曜日
要予約
電話 0799-22-1068
携帯電話
090-8757-6686

「阪神淡路大震災」では、
現場からのリアルな映像を発信

淡路島のニュース映像を撮り続ける80歳の現役カメラマン

報道カメラマン **神子素 孝輝** さん

洲本市物部2丁目にお住いの神子素孝輝さん（80才）は、サンテレビ淡路総局のカメラマンを30年あまり、現在は息子さんにバトンタッチしていますが、神子素さんも息子さんをサポートしながら現役カメラマンとして淡路島のニュースなどの映像を撮り続けています。

最初は趣味で撮り始めましたが、そのうちに結婚式や会社のPRビデオなどの映像を撮るようになり、その後はサンテレビのカメラマンとして活躍しています。サンテレビで放映される淡路島のニュースなどのほとんどは神子素さんが撮ったものだそうです。これまで放映されたものが約6,000本あり、中でも一番思い出に残るものは「阪神淡路大震災」で、神子素さんが撮った淡路島の被害状況が全国放送で流されました。

最近では、今年で4年目になる淡路市での「コウノトリの営巣」で最初の巣作りの時から取材を続けているそうです。このニュースはその都度何回も放映されました。その他取材したそれぞれに思い出深いものが数えきれないくらいあるそうです。

淡路島内での季節の行事や事故など、時間を問わず現地に行って映像を撮っているので、サンテレビで放映される淡路島でのニュースなどは皆さんもよく見ていると思います。

神子素さんは「最初は趣味で始めたビデオ撮影ですが、これだけ長い間カメラマンとして働けるとは思ってもいませんでした。これからも体が続く限り映像を撮り続けたいと思っています。またこれまでに撮った貴重な映像がたくさん残っているので、この映像が今後の淡路島の役に立てたらいいなと思います」と話されていました。

若いころはアマチュア無線、最近では3年前から始めたドローンでの空中撮影も好きで、淡路島のいろいろなところを空から映しているそうです。また自宅での家庭菜園、鯉や金魚の飼育など多彩な趣味を楽しんでいます。

（応援隊：田處 吉久）

神戸に映像テープを送るのも大変でした。

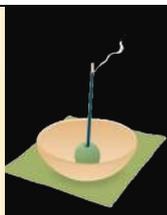
撮った映像テープを今では考えられない方法で神戸に送っていました。明石海峡大橋ができるまでは高速艇、橋が完成してからは高速バスで送り、サンテレビの関係者が神戸港中突堤やバスの到着地まで取りに来ていました。



最近はドローンを使って
美しい島の風景を
空から撮影しています。



田中辰蔵氏



淡路島の線香の発展



淡路島の線香について教えて頂くため、兵庫県線香協同組合事務局長の谷口太郎氏にお伺いしました。

谷口氏に線香に関して一番すごい人はとお尋ねすると、「この地に線香作りを伝えたときされる田中辰蔵さんをはじめ、その発展に寄与した先覚者の方々に尊敬し、感謝しています」と教えて下さいました。また、「毎年秋分の日には淡路市江井にある法華寺で慰霊祭を行い、感謝の心を忘れず、線香づくりに精進しています」とも熱く話されました。高台にある法華寺からは江井港を見下ろし、江井から郡家にかけて海岸線に並ぶ線香工場は田中辰蔵碑に見守られ励まされている雰囲気を感じています。

さて、田中辰蔵氏の業績は線香造りの始まりにあります。淡路島の線香作りは江井浦(現淡路市江井)において、1850年ごろ始まりました。江井浦は当時廻船業が盛んで、淡路島で最も栄えた港町でした。しかし冬は季節風で港が閉ざされることが多く、仕事が出来ない日も多くありました。年間を通じての仕事の確保、地場産業として線香作りを定着させ、生活を安定させることが線香作りの始まりです。また、江井浦の気候条件(冬場に西風が吹き、零度以下にならない)が適していること、また原材料の搬入と製品輸送に便利な立地が整っていたことなどから線香作りが根付いていきました。

線香の製造が始まって170余年、地場産業として守り、発展進化させ日本一の生産地として全国津々浦々、世界中に線香を届けています。



枯木神社

淡路市尾崎220

日本最初の香木伝来伝承地



香り

線香と言えば香り
～香り発祥の地～



流れ着いた流木を燃やしてみたらいい香り。

作・濱岡きみ子 絵・富山早苗

枯木神社は日本で初めて巨大な香木が流れ着いたという伝承が残る神社です。日本書紀によると595年推古天皇の時代に淡路島に流れ着いた流木を、島民が薪の代わりに燃やしたところ、とても良い香りが漂いました。あまりに素晴らしい香りがするので、朝廷に献上しました。

枯木神社は、地元や香りに携わる職業の方々にとって大切な場所となっています。夕景を眺めていると遙か彼方、香木が漂ってきそうな風景です。

他にも香りにまつわる施設として、パルシェ香りの館や香りの公園などが周辺にあります。

ひょうごフィールドパビリオン

関西万博が開かれる2025年に、この淡路島にもフィールドパビリオンが19か所開設予定されており、線香作りの現場も体験できるように企画運営されるでしょう。この機会に、線香作りの現場の心意気を発信しようと意気込まれています。淡路島の線香がより多くの人に身近に感じ、楽しまれるようになることを期待しています。

(応援隊：米田 静子)

子育てポケット

1歳半の三女、初めての海水浴。夏の間、家のプールでお姉ちゃんとパタ足や顔つけの練習をして、準備はばっちり。自宅近くの海水浴場へ着き、車から降りると、浮き輪を抱えお姉ちゃんの後を追いかけて小走りで海へ。

初めは怖がるかなと思っていたけど、自分から海の方へ歩いていき、波もへっちゃら。浮き輪をつけて、またまたお姉ちゃんを追いかけて海の中へ。足が着かない深さになっても、プカプカ浮いてご機嫌。水の中で方向転換もできちゃうし、「(写真)撮って〜!」とにこにこポーズを決める余裕。さすが末っ子! これからも三姉妹で色んなことに挑戦して、たくましく元気に育ててほしいです。

三姉妹ママ



写真撮って〜♪



「子育てポケット」では、淡路島で育っていく子どもたちの日常を発信して参ります

淡路島にお住まいで子育て中の皆さまからの投稿を大募集!!

「ポケットあわじ」でお子さまの日常や楽しかったことなどを紹介してみませんか??

メールで皆さまからのご応募お待ちしております♪

お気軽にお問い合わせください。



情報投稿先：淡路文化会館 兵藤宛

Mail : info-awabun@farm-group.com

問い合わせ：☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400

〒656-1521 淡路市多賀600



美術展示企画

淡路文化会館からのお知らせ

淡路文化会館HP



池の上に佇む美術展示室と県民ギャラリーでは、1年を通して様々な美術展示企画を開催します。2024年美術展示年間カレンダーは淡路文化会館のホームページをご確認ください。

写真はR6年6月「野の花作品展」開催時の様子です



2024年10月～11月スケジュール

◆津名フォトクラブ

展示期間:2024/10/17～2024/10/29

展示内容:道をテーマとした課題写真を展示し各クラブ員の道に対する写真の捉え方を見て楽しんでいただきたい。

◆2024兵庫県文化賞受賞者小品展

展示期間:2024/10/30～2024/11/2

展示内容:洋画、日本画、書、陶芸など各分野の受賞者の作品を一堂に展示します。

◆淡路市人権教育研究協議会

展示期間:2024/10/30～2024/11/17

展示内容:多くの方に出品いただいた2023年度人権尊重ポスター、標語の入選作品を展示し啓発等に役立てたい。

◆淡路津名アートクラブ

展示期間:2024/11/5～2024/11/18

展示内容:洋画の多様な表現、手法の作品展。具象・抽象他、合計30点の展示をおこないます。

淡路県民局県民躍動室からのお知らせ

淡路人形浄瑠璃特別公演（西宮公演）

11月30日（土） チケット好評発売中！

大きな劇場で、淡路人形浄瑠璃を観劇しませんか？

(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆「淡路花祭2024秋」開催中

現在、島内各地で花と緑に関するイベントを開催しています。秋の花々が楽しめる「淡路花祭」へぜひお出かけください。

◆第13回高校生花とみどりのガーデン

期間 10月5日（土）～11月10日（日）

場所 県立公園あわじ花さじき

内容 県内の高校生グループが制作した独創的な庭を展示

◆第1回花の島淡路インスタグラムフォトコンテスト 秋部門 作品募集

撮影期間 9月1日(日)～11月30日(土)

テーマ 淡路島内にある花の名所等の季節ごとの魅力が伝わる写真を当協会インスタグラムをフォローのうえ、投稿してください。

「淡路花祭2024秋」
イベント情報詳細はこちら →



淡路花祭
HP

【申込み・問合せ】淡路県民局県民躍動室

【電話】0799-26-2015

申込・問い合わせ先：(一財)淡路島くにうみ協会

電話：0799-24-2001 FAX:0799-25-2521

Eメール：awajishima@kuniumi.or.jp

ホームページ：https://www.kuniumi.or.jp

インフォメーション



◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

秋季特別展

〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
☎0799-36-2314
☎0799-36-5408

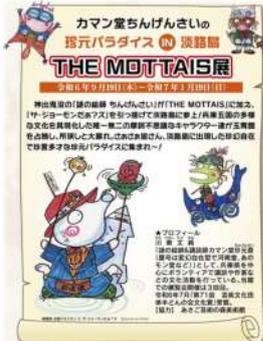
秋季特別展

「縄文の情熱～祈りのカタチ～」
9月19日(木)～12月1日(日)
縄文時代に使われた土偶や石棒などの
様々な祈りの道具を展示します。縄文
人の芸術性や祈りに対する情熱を感じ
てください。



カマン堂ちんげんさいの「珍元パラダイスIN淡路島 THE MOTTAIS」展

9月19日(木)～1月19日(日)
兵庫五国の多様な文化を取り入れた摩
訶不思議なキャラクター達。玉青館に
出現した「ちんげんさいワールド」を
お楽しみください。



【日時等】
9:00～17:00
(入館は16:30まで)
【休館日】
月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌日)
【料金等】
9/19～12/1:大人500円
 高大生300円
 小中生150円
12/3～1/19:大人300円
 高大生200円
 小中生100円
※小中生は「ココロカード」「のびのび
パスポート」利用可、入館無料

◆洲本市文化体育館

〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-25-3321 ☎0799-25-3325
休 火曜日休館 時9:00～21:00

令和6年度 洲本市文化協会本部事業 第4回 洲本市民 舞踊祭 舞い踊れ、洲本の心

出演団体(出演順)
藤間流濃紫会、カ・パー・フラ・オ・
カ・イリマレイ・アーピキ、藤間流藤
の会、Tale Dance School、あかね
会、Tale Hula School

〈ゲスト出演〉
洲本高校 ミュージックダンス部
〈フィナーレ〉
みんなでフラを踊ろう!
【日時】10/6(日)開場 13:00
 開演 13:30
【場所】文化ホール『しばえもん座』
【入場料等】入場無料
【お問い合わせ】洲本市文化協会
☎0799-22-4778(喜田)
<https://www.facebook.com/subunkyo/>
(洲文教で検索)

真言法話の集い

淡路島内の住職によるお説法
【日時】10/9(水)13:30～16:00
【場所】会議室2C
【入場料等】無料
【お問い合わせ】淡路自治布教団
☎0799-50-5050(萬勝寺)

三美会 日本画洲本展

県立淡路文化会館日本画セミナー受講生
の作品を展示いたします
【日時】10/12日(土)～14日(月・祝)
 10:00～17:00(最終日16時迄)
【場所】会議室1A-2.3
【入場料等】無料
【お問い合わせ】三美会 担当:山本
☎0799-54-0447

第77回 洲本市美術展

日本画・洋画(版画)・書・彫塑・工芸・写真
の5部門を対象とした公募展
表彰式は11月4日(月・祝)午後2時より
コミュニティアリーナにて行います。
【日時】10月31日(木)～11月4日(月・祝)
 9:30～18:00(最終日16時まで)
【場所】会議室1A・2C
【入場料等】無料
【お問い合わせ】洲本市教育委員会
生涯学習課
☎0799-22-3321(代表)
窓口受付:月～金曜(祝日除く)
午前8時30分～午後5時15分

◆淡路人形座公演案内

10月公演案内

おかげさまで淡路人形座

設立60周年!

～この島で これからも～

3日(木)～15日(火)
10:00～/11:10～/15:00～
「戎舞+プラス」
13:30～
「淡路人形座えとこどり 或る夜の段」

18日(金)～20日(日)/22日(火)～31日(木)
10:00～/15:00～
「バックステージ」・「人形解説」
「戎舞」
11:10～/13:30～
「戎舞」・「人形解説」
「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」

21日(月)
10:00～/11:10～/13:30～/15:00～
「バックステージ」・「人形解説」
「戎舞」

【定期公演】

10:00/11:10/13:30/15:00
30名様以上の場合、下記の時間帯で臨
時公演も可能です。
15日前までの事前予約が必要です。
【臨時公演】9:00/16:00
【料金】大人1,800円/中高生1,300円
小学生1,000円/幼児無料
【10月の休館日】
1日(火)、2日(水)、9日(水)、10日(木)、
16日(水)、17日(木)23日(水)、30日(水)
【申し込み・お問合せ】
☎656-0501
南あわじ市福良甲1528-1地先
☎0799-52-0260
☎0799-52-3072
Mail:awajiningyo@gmail.com

野村萬斎 狂言公演in 淡路島

今年60周年を迎える淡路人形座にて、野
村萬斎狂言公演が開催されます。

【日時】11月22日(金)開演14:00
【料金】8,000円 [全席指定席]
【チケット販売日・販売方法】
淡路島民先行販売10月13日(日) 9:00～
※淡路人形座窓口のみ
一般販売10月24日(木)9:00～
※淡路人形座窓口、お電話での販売
※共にご購入はおひとり様2枚まで
チケット購入についての詳細はお問い合
わせください。
【お問い合わせ】淡路人形座
☎0799-52-0260

インフォメーション



◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎0799-74-1200
☎0799-74-1201

10:00~18:00(最終受付17:30)
淡路夢舞台公苑温室「あわじグリーン館」は大規模修繕のため休館いたします。期間=2024年4月1日~2025年3月(中旬)館内設備の老朽化にともなう修繕工事をおこなうため、ご了承くださいますようお願い申し上げます。再オープンの日が確定しましたらお知らせいたします。

期間:2024年4月1日~2025年3月(中旬)

◆淡路島国営明石海峡公園

〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
☎0799-72-2000 ☎0799-72-2100

秋のカーニバル ダリアを使ったフラワーアレンジメント &ダリアの花びら染め

【日時】10月12日(土)・13日(日)
10:30~15:30

【場所】花の丘道あすまや

【内容】ダリアを使ったフラワーアレンジメントや花びら染めの体験。

【参加費】各700円

※別途入園料、駐車料金必要

秋のカーニバル 秋の野点

【日時】10月14日(日)
10:30~15:00
なくなり次第終了

【場所】花の丘道あすまや

【内容】満開のコスモスを眺めながらお抹茶で一服。

【参加費】300円

※別途入園料、駐車料金必要

◆淡路市立しづかホール

第15回しづかマルシェ & アイランド音楽祭

毎年恒例のしづかマルシェを今年も開催!!

屋内外合わせて40ブースの出店予定
音楽祭も同時開催

【日時】10月20日(日)

○マルシェ10:00-16:00

○音楽祭13:00-16:00(予定)

【入場料等】無料

篠笛教室生徒募集

日本古来の文化、大自然や生活と深く結びついた楽器を奏でて、音を楽しみます。また想像したものを形にし創造していく中で、自身を開放し表現できる力を育みます。ゆっくり基礎から学べます。

【講師】嶋本かおり

【日時】10月17日(木)ほか(毎月2回)
18:00-19:30

詳しくはホームページをご覧ください

【場所】リハーサル室

【料金】¥1,500(1回)

※初回体験500円



【問合せ】淡路市立しづかホール

電話:0799-62-2001

メール:info@shizukahall.com

HP:http://shizukahall.com/

◆サンシャインホール

〒656-2305 淡路市浦148-1
☎0799-74-0250

さんさんよせ

あわじ燦々寄席

昨年までの「ひがしうら寄席」を今回は、「あわじ燦々寄席」として開催いたします。寄席三席と女性の太神楽曲芸師の曲芸でお楽しみください。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 令和6年10月13日(日)
14:00開演(全席自由席)

出演予定 林家花丸、ラッキー舞、
桂小鯛、桂八十助

入場料 【前売】一般800円、
【当日】一般1,000円

◆高校生以下及び障害者手帳お持ちの方は無料

※事前発行の整理券が必要です。

チケット販売開始

令和6年9月15日(日)から

チケット販売場所 サンシャインホール
しづかホール



編集・だ・よ・り

毎日が急ぎ足で過ぎ、今年も残り3ヶ月になりました。猛暑、台風に加え、やっと穏やかな10月を迎えました。二十四節気では、8日が寒露、13日が霜降、分化的には14日がスポーツの日、15日が十三夜日の行事です。

【応援隊 田村 弘子】

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願いいたします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600

☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400

E-mail: info-awabun@farm-group.com

H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。



IZANAGI - GAKUEN OPEN CAMPUS

淡路文化会館 ファミリーデー

入場・観覧
無料

ただし、駐車可能台数に限りがあります。
文化会館の駐車場（約120台）が
満車の場合は、ふるさとセンターの
駐車場をご利用ください。

2024
10/6日

＜場所＞ 淡路文化会館 講堂
① 午前の部 10:00～12:00
② 午後の部 13:30～15:30

※ 講堂の開場は9:40予定です。
※ 時間は変動する場合があります。
※ 午前と午後は同じ内容です。
（途中入場自由）

*Awaji
Bunka Kaikan
Family Day*



スキップ楽団
ゆかいな音楽会

①11:30～ / ②15:00～

幼稚園や保育園などへ訪問公演活動を
続ける、明るく陽気な音楽団の生演奏！

シニアコレジャ「いざなぎ歌謡」で好評の講師も
楽しいステージショーで登場します!!



ドキドキわくわく

むっしゅみの吉

①10:45～ / ②14:15～

保育士免許をもつ大道芸人!?
大人も子供も笑っていっぱい。
ほのぼのした見た目とうらはらに
ドキドキわくわくのパフォーマンスを
どうぞお楽しみください。



焼酎と
歌のおにいさん

あおだい

①10:00～ / ②13:30～

岡山県を中心に活動する歌のお兄さん。
キッズソングや童謡、歌謡曲など幅広い
ジャンルの楽曲から、ファミリーデーに
ピッタリの曲をセレクトしてお届けします。
みんなで歌って楽しい時間を一緒に。

Information

飲食ブースや出店はございません。また、雨天決行の予定ですが、
淡路市地域に気象警報発令時は中止となり、台風接近の場合など、
やむを得ず内容の変更や中止となることがあります。
あらかじめご理解ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

*Have a
Nice Day!*

〒656-1521 兵庫県淡路市多賀600 電話 0799-85-1391

兵庫県立 淡路文化会館



公式WEB

指定管理者：淡路文化会館マネジメントパートナーズ（代表団体 株式会社ワールドインテック）



Instagram

淡路文化会館 シニアカレッジ いざなぎ学園の

講座を単発で受講

できるようになりました！

ご興味のある講座をどなたでも、その回だけでも受講いただけます。

兵庫県立淡路文化会館




- 事前申込不要・当日受付
- おひとり1回500円(原則)

*講座により受講の可否や料金は変動します。
*詳細は公式ホームページ参照または電話でお問い合わせください。

【10～12月の単発受講可能講座】

- ・10月2日(水) 健康ヨガ *予定
 - ・10月23日(水) 業式部について(2日)
 - ・11月13日(水) 高齢者のオーラルケア
 - ・11月27日(水) 読活に関する講座
 - ・12月4日(水) 健康な食生活について
- *予告なく変更になる場合もあります。
ご了承くださいませ。

淡路文化会館 美術作品展示 & ポケットあわじ制作

ボランティアスタッフ大募集!!

活動 A

淡路島の文化振興や情報発信活動に参加してみませんか？

活動 B

美術作品展示 ボランティア

淡路文化会館の美術展示室 及び 県民ギャラリーにおいて、展示者の希望に応じて展示作業の支援を行うなど、年間を通じて美術作品展示の運営をサポートしていただきます。

- 美術作品の搬入(運び込み) 補助
- 作家の方との意見交換や交流
- 美術展示や美術鑑賞に関する研修
- 美術作品の展示作業 など
- 年間美術展示スケジュールに基づいて作品の搬入や展示作業(約1時間程度)
- ※ 時間帯は展示内容により変動
- ※ 各言のご都合に合わせて参加可能
- 【活動場所】兵庫県立淡路文化会館

生活創造しんぶん「ポケットあわじ」制作 淡路生活創造応援隊 ボランティア

淡路島の魅力を紹介する生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の企画、取材、原稿作成、編集、配布などを通じて、地域を元気にする活動にご参加いただけます。

- 「ポケットあわじ」の制作や発行に関する活動
 - ・企画(特集やテーマ、取材先の選定)
 - ・取材活動、撮影、記事作成
 - ・原稿の編集、校正、配布活動 など
 - 毎月第3または第4木曜日の集まり企画を企画
 - ※ 原則として午後2～3時開催
 - ※ 島内各生活仕の集まりが楽しめる情報交流の場です。
 - ※ 取材や記事作成などは各自で活動となります。
- 【活動会場(所)】兵庫県立淡路文化会館

活動内容

活動日時 / 場所



お問い合わせ / お申込み

兵庫県立淡路文化会館

〒656-1521 兵庫県淡路市幸岡 600
TEL. 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

